

《市長挨拶》

それでは、開会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

皆様には、平素から、本事業の推進に当たりましては、格別のご支援とご協力をいただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、県と市が一体となって取り組んでおります鉄道高架事業、土地区画整理事業ともに順調に進んでおり、今年 3 月には仮換地指定を行い、一つの節目を迎えました。具体的な土地利用をどのように進めていくのか、検討を始める時期を迎えております。

松山市では、古くから培ってきた資源を活用する「たからみがき」のまちづくりを進めており、地域の活性化や観光の振興などとともに、公共交通を大切にし、人にやさしい、歩いて暮らせるまちづくりを目指し、駅周辺も「たからみがき」のまちづくりの要の地区として、中心市街地の活性化に重要な役割を担っております。

そのため、新たに整備されます東西の駅前広場や、その周辺の公共空間、そして、それに隣接します拠点街区の各施設は、私たちの世代だけではなく、将来にわたる松山市のランドマークとして、美しく調和するまちなみの形成とともに、この場所にふさわしい土地利用により相乗的な効果を発揮し、また中心市街地全体の活性化に資する一体的な整備が求められております。

この会は、その声に応えるため、新たなまちづくりの担い手であります区域内の地権者の方をはじめ、関係の行政機関や鉄道事業者、経済団体、また、地元代表者や、まちづくりに造詣の深い学識経験者にご参加をいただきまして、交通結節拠点にふさわしい一体的なまちづくりに向けた協議を行うため設けたものでございます。お互いの情報を共有し、そして連携し、合意形成を図りながら、ここを訪れる人が自然に笑顔になり、市民、県民の誰からも愛される『県都松山の陸の玄関口』を実現させるため、本日お集まりの皆様方のご協力をお願い申し上げます。私の開会のごあいさつとさせていただきます。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。